

# 教育委員会だより

## 子どもたちを登下校時の危険から守る スクールガードの取り組み

今年度のスクールガード事業が終わりました。この事業は、子どもたちの通学の安全確保のため、住民課と教育委員会が力を合わせて実施してきましたのです。

ささやかな注意喚起が役立つのか、結果としてここ数年は声かけ事案などはなく、成果を上げています。近年では、保護者が一緒に校門前に立って声がけしてくださるなど、保護者・地域の皆さんへの注意喚起にもつながっています。



早川小最後のスクールガード

## 早川小・湯ノ岱小では 最後の取り組み

今年度は、早川小、湯ノ岱小にとつて、最後のスクールガードでした。

早川小は5名、湯ノ岱小は4名と児童数は少なくなりましたが、どちらの学校も、子どもたちが仲の良い笑顔で迎えてくれました。

また、通学路に面した家の皆さんの笑顔の見守りもうれしいものでした。学校も統合になり地域に



湯ノ岱小最後のスクールガード

子どもたちがいる、その子どもたちの声を聞き、姿を見て励まされる大人たちがいる、というなんでもない風景が間もなく見られなくなります。これから子ども

どもたちに目を向け、声をかけていただけますよう、お願い致します。

## 授業の改善・向上を目指して へき地複式教育研究会檜山大会が行われる

9月18日、へき地複式教育研究会檜山大会が複式教育研究連盟（委員長・溝口二三夫滝沢小学校長）の主催により河北小学校で開催されました。

これは、檜山管内のへき地・複式学校における授業の改善・向上を目指して行われているもので各町から60名を超える先生が参加しました。

はじめに、河北小学校で行われている2・3年と4・5年の算数の複式授業が公開されました。

坂本景子校長を中心に先生方が積み重ねてきた取り組みを反映し、熱心に学び合う子どもと先生の姿は、参加の先生方の気持ちを強く動かすものとなりました。

参加した先生の一人は、

「子どもたちは、おとなしく、尻込みしがちだと聞いていたけれど、落ち着いて、しっかりと学んでいた。先生の問いかけも丁寧で、子どもたちの考えを引き出す、とてもよい手本になった。」と感想を述べていました。他の一人は、「一生懸命に学ぶ子どもたちがとても



公開授業— 4・5年生の算数

可愛かった。上ノ国では、担任の先生が一つの学年を直接指導している間、もう一つの学年を学習支援員の先生が支援できるようにしている。子どもたちも先生方も安心して授業できると感心した。」と語っていました。

2つの授業公開後の開会式では、矢代智樹教育長があいさつ。保育料や給食費の無料化など、町ぐるみの子育て姿勢を強調し、さらに複式の少人数はハンデだが、それを前進の力に変えている上ノ国の先生方の努力や保・小・中・高校の先生方の授業や生徒指導の連携協働を称えました。

午後からは、先生方が公開された授業や日ごろの指導の工夫や成果について交流しました。

